

平成28年度 林野庁予算概算要求の概要

8月31日、平成28年度予算の概算要求が財務省に提出されました。
林野庁関係予算の概算要求についてご紹介いたします。

要求の概要

平成28年度林野庁一般会計の要求総額は、3,429億円（対前年度比118.1%）で、このうち公共事業費は2,231億円（116.3%）、非公共事業費は1,198億円（121.6%）です。

平成28年度要求の主要課題

我が国の豊富な森林資源を循環利用するとともに、地球温暖化防止対策に資する間伐等の森林施業や路網の整備等の着実な実施等により、林業の成長産業の実現に取り組みます。

また、近年の集中豪雨等による山地災害の発生や、山地災害発生リスクの上昇予測等を踏まえた事前防災・減災対策を実施します。

区 分	平成27年度 当初予算額(百万円)	平成28年度 概算要求額(百万円)	対前年度比 (%)
公共事業費	191,830	223,099	116.3
一般公共事業費	181,856	213,125	117.2
治山事業費	61,570	71,749	116.5
森林整備事業費	120,286	141,376	117.5
災害復旧等事業費	9,974	9,974	100.0
非公共事業費	98,533	119,820	121.6
合 計	290,363	342,919	118.1

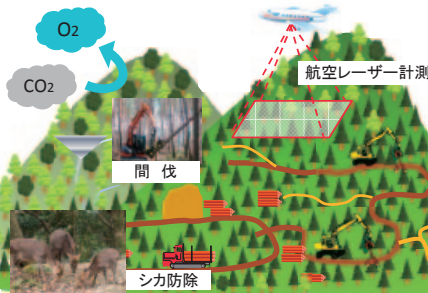
(注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び山村活性化支援交付金に、林野関係事業を措置している。

2 計数は、四捨五入のため合計とは一致しない場合がある。

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

地球温暖化防止に向けた森林整備と多面的機能発揮のための対策

- 間伐等の森林施業や路網整備等を推進
【森林整備事業 1,414億円】
- 荒廃山地の復旧・予防対策、海岸防災林の保全等を推進
【治山事業 717億円】
- 地域住民等による森林の保全管理等の取組を支援
【森林・山村多面的機能発揮対策 25億円】
- シカの広域的な捕獲・防除等を推進
【シカによる森林被害緊急対策事業 5億円】



施業集約化の加速化

- 森林所有者・境界の明確化等の取組を支援
- 航空レーザーの活用等による森林情報収集モデルの構築
【森林整備地域活動支援交付金等 3.5億円】
【森林情報高度活用技術開発事業 1.4億円】

林業を支える担い手の確保・育成

- 「緑の雇用」事業により、新規就業者の確保・育成等を支援
【森林・林業人材育成対策 62億円】



花粉発生源対策の推進

- 少花粉苗木等の生産体制強化、スギの植替えを促進
【花粉発生源対策 6億円】



スギの伐倒・除去による植替え

川上から川下までの連携による効率的な木材の生産・供給システムの構築



新たな木材需要の創出

- CLT・耐火部材等の開発・普及等を支援
- 木質バイオマスの利用促進
- 違法伐採対策の推進
【新たな木材需要創出総合プロジェクト 16億円】



耐火部材を用いた木造商業施設



CLT建築物

川上から川下までの取組の総合的支援

- 間伐・路網整備やCLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設の整備など、地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援
【次世代林業基盤づくり交付金 200億円】



路網整備



コンテナ苗木生産施設



CLT加工施設

平成28年度 予算概算要求の主要項目

平成28年度予算概算要求の主要項目は次のとおりです。

※注：（ ）は前年度

川上から川下までの 取組の総合的支援

地域の創意工夫を活かし、木材の安定供給を図るための条件整備や木材利用の拡大・促進、木材産業の体制の整備などを支援します。

●次世代林業基盤づくり交付金
200億円(27億円)

需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給を実現するため、間伐・路網整備やC・LT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設等の整備など地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援します。

新たな木材需要の創出

森林資源のフル活用に向け、A材、

B材、C・D材の幅広い用途において、新たな木材需要の拡大を推進します。

●新たな木材需要創出総合プロジェクト
16億円(14億円)

中高層建築等に活用できるC・LT・耐火部材など新たな製品・技術の開発・普及の加速化、地域材の利用拡大を支援します。

また、木質バイオマスの利用拡大や、違法伐採対策を推進します。

施業集約化の加速化と 花粉発生源対策の推進

施業集約化に向けた森林境界の明確化を促進するとともに、効率的に施業提案を行うための仕組みづくりを推進します。

少花粉苗木等の生産体制を強化し、スギの植替えを促進します。

●林業の低コスト化と花粉症対策の推進
18億円(9億円)

施業集約化に向けた航空レーザの活用等による森林情報の収集等を支援するとともに、低コスト化や花粉症対策の推進のため、成長に優れた品種や花粉の少ない品種等を対象として、採種園等の造成・改良、コンテナ苗の生

産技術研修を支援するほか、花粉症対策苗木への植替えを促進します。

林業を支える担い手の 確保・育成

「緑の雇用」事業等により、新規就業者の確保・育成等を支援します。

●森林・林業人材育成対策
62億円(61億円)

林業への就業前の青年に対する給付金の給付や、「緑の雇用」事業の拡充等による人材の育成を支援します。

地球温暖化防止に向けた 森林整備と多面的機能発 揮のための対策

間伐等の森林施業や路網整備等、荒廃山地の復旧・予防対策、海岸防災林の保全等を推進するとともに、地域住民等による森林の保全管理等の取組を支援します。

また、シカの広域的な捕獲・防除等を推進します。

●森林整備事業公共
1,414億円(1,203億円)

国産材の安定供給体制を構築するとともに、地球温暖化を防止するための間伐等の森林施業や路網の整備を推進します。

●治山事業(公共)
717億円(616億円)

地震・集中豪雨等に対する山地防災力の強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、津波に強い海岸防災林の保全等を推進します。

●森林・山村の多面的機能の発揮対策
25億円(25億円)

森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を支援します。

●シカによる森林被害緊急対策事業
5億円(2億円)

シカによる森林被害が深刻な地域において、国と自治体の広域的な連携の下、シカの計画的な捕獲・防除等を緊急的に支援します。